

平成 24 年度 第 4 回北海道ブロック協議会  
第 5 回北海道代協理事会  
議 事 録

平成 25 年 1 月 18 日(金) 11:00~15:00

於:ホテルライフオー ト札幌

出席者

|        |       |    |    |       |     |     |       |    |
|--------|-------|----|----|-------|-----|-----|-------|----|
| 日代協副会長 | 高梨 重勝 | 函館 | 理事 | 伊藤 隆人 | 札幌  | 監事  | 木下 裕章 | 小樽 |
| 日代協理事  | 木内 彰  |    | 理事 | 廣瀬 禎  | 室蘭  | 監事  | 本村 宏文 | 千歳 |
| 日代協理事  | 山口 史朗 | 札幌 | 理事 | 坂本 信一 | 旭川  |     | 羽田 武史 | 帯広 |
| 会長     | 山崎 善仁 | 札幌 | 理事 | 山本 仁  | 旭川  |     | 寺本 朋史 | 札幌 |
| 副会長    | 羽山 和広 | 帯広 | 理事 | 鈴木 雅裕 | 小樽  |     | 見上 峰夫 | 札幌 |
| 副会長    | 松浦 則雄 | 函館 | 理事 | 佐藤 聖  | 苫小牧 |     | 町野 泰明 | 札幌 |
| 副会長    | 山吉 行雄 | 釧路 | 理事 | 小野 修  | 函館  |     | 嶋田 拓馬 | 札幌 |
| 副会長    | 佐々木雅之 | 札幌 | 理事 | 大橋 敏  | 函館  |     | 梅基 伸男 | 札幌 |
| 副会長    | 寺田 賢  | 旭川 | 理事 | 濱中 公也 | 函館  | 事務局 | 藤田 和代 |    |
| 専務理事   | 赤山 登  | 札幌 | 理事 | 大高 喜弘 | 釧路  |     |       |    |
| 常務理事   | 富谷 則文 | 札幌 | 理事 | 深井 弘美 | 帯広  |     |       |    |

<オブザーバー参加者> 4名

斉藤隆宏(愛媛代協副会長)、田代誠治郎(函館)、上畑雅則(釧路)、澤田憲孝(帯広)

司会 専務理事 赤山 登

**1. 開会の辞(松浦則雄)**

**2. 北海道代協会長挨拶(山崎善仁)**

当理事会での報告および審議事項に関しての不明点は必ず質問をし、充分理解をした後支部へ戻り支部役員への徹底をお願いしたい。今期も残り少なくなりましたが、会員増強を柱に活動に力を注いでください。また、会議後開催されるセミナーと新年交礼会へのご協力をお願いいたします。

**3. 日本代協副会長挨拶(高梨重勝)**

久しぶりに北海道代協理事会へ参加いたしました。日本代協会長の掲げた以下3点(日本代協ブランド)を充分認知し、理解したうえでの各々の活動に励んでいただきたい。

- ・ 損害保険大学課程制度での募集人の資質向上
- ・ 損保協会との連携による社会貢献活動の展開
- ・ 代理店賠償責任保険への加入強化

**4. 日本代協常任理事挨拶(木内彰)**

昨年度は新任での地区担当でしたが、今年は二年度目であり北海道代協の主要メンバーは周知できているので、単位代協での意見・方向性を重要視し、日本代協へ反映させることにより、更なる活性化を図りたいと思います。

## 5. 倫理綱領の朗読(小野修)

## 6. 議長選出

議長には佐々木雅之副会長(札幌)が指名され、承認を得た。

## 7. 議事録署名人の選出

議事録作成者：富谷則文常務理事(札幌)、議事録署名人に見上峰夫(札幌)、嶋田拓馬(札幌)各氏が指名され了承を得た。

## 8. 議 事

### [ I ] 報告事項

#### (1) 日本代協コンベンション報告(山崎善仁)

11月16・17日に第2回日本代協コンベンションが開催され、北海道代協からも関係者が参加してきました。セミナーの内容は非常に良いものであり、また他地域の会員との意見交換もためになるものでした。資料P 31,32に札幌支部出席者の参加報告書を添付しておりますので参考にして下さい。

#### (2) 日本代協理事会報告(木内彰)

第6回理事会が12月5日に下記を主な議事として開催されております。

・第2回コンベンションの報告および25年度実施について ・会員増強と国民年金基金の現状と取組みについて ・損害保険大学課程コンサルコース

#### (3) ブロック長会議報告(山崎善仁)

全国16ブロックの代表者による集会ですが、各ブロックよりの10分程度の活動報告(会員増強とコンサルコースの受講の現状他)が主題でありました。

#### (4) 日本代協委員会報告

##### I、組織委員会(伊藤隆人)

・委員会では会員増強日本代協目標12,000店(北海道は527店)への取組みと国民年金基金加入者の促進が主題で進められた。

##### II、企画環境委員会(山崎善仁)

・「共通化・標準化に向けた提言」での各種項目への取組みがメイン。

##### III、教育委員会(山崎善仁)

・各支部にて認定保険代理士の更新研修対象者の受講徹底を願いたい。

##### IV、CSR委員会(山本仁)

- ・グリーン基金の北海道よりの応募者はなし。
- ・2013年5月を目処に「グリーン活動ガイドブック」の改修発刊に取り組む。

#### V、ビジョン委員会（佐々木雅之）

前理事会以降の委員会開催はなし。

#### VI、広報委員会（嶋田拓馬）

- ・認定保険代理士の対外PR用のTV番組詳細が資料P 16のとおり決定。
- ・「みなさまの保険情報」の会員活用推進についてはアンケート意見を取り入れた編集を実施していく。

### (5) 各支部活動報告

各支部の活動については会議資料P 26～P 30参照（追加報告は以下のとおり）

- ・室蘭支部—登別大停電に関する各種協力へのお礼を述べる。
- ・旭川支部—新年交礼会への参加者は66名。
- ・函館支部—1月17日タオールボランティアで6施設に寄贈した。

### (6) 各委員会活動報告

各委員会の活動状況につき各委員長より口頭簡易報告がされる。

- \* 組織委員会委員長より、12月上旬北海道代協主要メンバー5名にて各損保会社代協窓口を訪問し、会員増強・損害保険大学課程他につき協力を要請しているため各支部も充分損保会社とともに活動をしていただきたいとの報告がある。
- \* 広報委員会委員長より、各支部での5月無保険車追放キャンペーンへの協力確認依頼がある。
- \* 教育委員会委員長より、損害保険大学課程コンサルティングコース1月締め切りへの目標必達依頼あり。
- \* 企画環境委員会報告後、羽田氏より自賠償始期前解約処理問題についての質疑がある。羽田氏—各問題事項について、本部への報告にとどまり何らの返答なしでは困る。山崎会長返答—消費者に実際不利益が生じているならば、是正依頼を強くしていくのが本来であり、報告後のスキーム作成とあわせ至急に行っていきます。

### (7) 政治連盟報告(梅基伸男)

- ・ P 33、34、35資料のとおり、衆議院選挙候補者については山崎会長同伴のもと要望書を持参いたしました。

## [II] 審議事項

### (1) 会員増強・国民年金基金について(伊藤隆人)

<会員増強について>

日本代協組織委員長山口氏より2月入会キャンペーンの主旨説明があり—日本代協目標の12,000店・専業での組織率50%を目指し最終的には業界の50%を目指す。3月末

目標と11月末の差異店数の6割を2月でやりましょう。その具体的実行策が「新入会員連れてき隊」です。北海道の場合は527－502の25名以上を隊員に任命し、活動に当たっていただくものです。もちろんこの数字に止まらず、3月末での新入会員64店をやりきっていただきたい。本来は自主的に単位代協が取り組む問題ではあるが、全国的には差異があるため、日本代協が音頭をとり行っているキャンペーンです。組織存亡・代理店制度存続のための活動と認識して下さい。

伊藤委員長一札幌・旭川では支部幹事会でキャンペーン実施策につき承認済です。その他支部は支部長と組織委員をメンバーとさせていただいたので主旨ご理解のうえ、2月に活動強化および成果を挙げてください。

- ・小樽支部が現状報告―信金別働隊を代理店賠償制度にて加入推進中。
- ・苫小牧支部が現状報告―当地域にては専門チャンネルでは限界であり、また企業代理店の多くは支店となっているため、支店単独での加入は難しい。

寺田担当副会長が発言―既存企業代理店との提携先代理店をターゲットにしていく等も推進策のひとつとしてほしい。

山崎会長―1月の各損保会社窓口訪問時に各社別での既加入者のリストを持参し未加入者への声かけの要望をしています。各支部でも保険会社とうまく連携をとり活動してください。

\*2月キャンペーン実施および3月末目標店数達成につき議長採択をとり**承認可決**  
<国民年金基金について>

伊藤委員長―3月末での1支部1名の新規加入を目指し、活動にあたっていただきたい。羽田氏（帯広）より発言あり―毎回繰り返すが、現行1.75%での運用固定によるリスク、以前の5.5%運用での契約保有による破綻リスクを持ち合わせているため、これを取り除かない限り自信ある新規募集に当たれないのが現状ではないか。

山口氏返答―設立時より新規募集については日本代協が責任を持つものであり、またリスクは国民年金基金特有のものではない。コンスタントに年間100名の加入があれば運営上問題はなしとの試算もできている。

\*議長が審議内容を修正し、この場は北海道代協として年度当初の新規募集9名での再確認と活動確認とさせる。議長採択をとり**承認可決**

## (2) 損害保険大学課程コンサルティングコース・資格移行について(山崎善人)

会議資料P9～P12に代協としても損害保険大学課程の募集にあたる経緯・理由を掲載しております。1月末のコンサルティングコース締め切りまでに現在の目標不足数17名を各支部2名ずつに振り分け加入推進いただきたい。受講対象は認定保険代理士資格保有者以外のすべてであるので、会社職員・研修生へも周知いただきたい。

\*目標達成への活動強化につき議長採択をとり**承認可決**

## (3) 第1回北海道代協正副会長会議について（赤山登）

会議資料P17・18を参照しながら正副会長会議の議事討論内容を赤山氏が発表する。

羽田氏（帯広）より決算における事業収益課税問題については以前より出ていることであり、早急に税務当局なりに確認をとるべきではないかとの意見あり。

富谷氏返答一現状は担当会計事務所での確認に止まっており、急いで対応実施する。

\*上記問題意外につき議長採択をとり**承認可決**

(4) DRP・ハウスデポ・JCM事業についての再確認について(町野泰明)

DRP入庫台数については伸び悩み状態にありますので、再度支部においても未委託会員への再委託活動を推進していただきたい。

\*議長採択をとり**承認可決**

(5) 北海道代協会費口座振替について（富谷則文）

今年度は札幌支部・函館支部がセディナ利用での口座振替北海道代協一括徴収を実施しておりますが、その他支部にても来年度の導入をするために、早期に口座振替用紙の準備をしていただきたい。

室蘭支部—2月末を目処に推進するので、用紙を至急送付願いたい。

小樽支部—支部総会にかけて準備に入る。

帯広支部—同上

旭川支部—用紙取り直しと毎年の新聞広告代金の回収も各会員へニコスにて実施しているため、その問題が気にかかる。

\*議長採択をとり**承認可決**

(6) 平成25年度事業計画について（赤山登）

3月中旬を目処に各支部および各委員会の事業計画（案）を事務局あてに作成・報告願います。

\*議長採択をとり**承認可決**

(7) その他

・CSR委員会新設立について4月スタートをするのであれば、スケジュール的に当理事会で正式に承認されなければならない、審議決定いただきたい。

\*議長採択をとり4月設立スタートで**承認可決**

### [Ⅲ] その他

○旭川山本氏より「日本代協作成のCSRガイドブック再編集作業において、地域特有のボランティア活動として北海道のタオルボランティア活動を報告させていただきたい。また、北海道ならではの活動にも取り組まいませんか。」との提案があり。

\*議長採択をとり、活動報告については**承認**・新活動への取り組みについては4月のCSR委員会設立後に内容とともに実施具体策、スケジュール等を議論していくことで決定。

## 9. 監事講評(本村宏文)

1月9日発刊の日本代協ニュースにての岡部会長の年頭所感を読み、特に「江戸しぐさ」の教え（相手のことを思いやる生き方）を現代にこそ生かし、実践していくべきと感じた。当会議に関しましては、ほとんどの参加者が発言をし、また活発な意見交換ができており更なる北海道代協の前進への活力と受けとめました。

## 10. 閉会の辞(羽山和広)

議事録作成者 富 谷 則 文

議事録署名人 見 上 峰 夫

議事録署名人 嶋 田 拓 馬